

9月16日(土) タイムテーブル

9月16日(土曜:1日目)						
	501室	502室	503室	411室	412室	413室
9:00	開会式					
9:10	9:10-10:10 (大会長講演) 「家族療法をもっと身近なものにするために」 【講師】児島達美					
10:20	10:20-12:20 【学会企画シンポジウム②】 『「チーム」や『連携』が自律的・機能的となるための支援』 ～システムズアプローチの観点から～ 【シンポジスト】 浅野久木 高林学 児玉久仁子 【兼・指定討論】 吉川悟 【座長】 中野真也	10:20-10:50 (P19)一人娘の老親介護 (渡邊優江) 10:50-11:20 (P21)釈放前の若年男性受刑者が語る家族関係 (下郷大輔)	10:20-10:50 (P5)親の紛争を経験する子どものインタビュー調査 (小田切紀子) 10:50-11:20 (P10)小学校で担任がシステムズ・アプローチを活用することの経験的効用の検討 (永野沙保)	10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V12)ひきこもり支援と家族療法 (金城理枝ほか)	10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V2)グループスーパービジョンの経験 (石田匡宏ほか)	10:50-12:20 【自主シンポジウム】 (V5)性的嗜癖行動と家族へのアプローチ (井上漕太ほか)
10:50						
11:30		11:30-12:00 (P1)個人面接逐語録を含む診療情報の開示・共有とその効果 (石橋健一) 12:00-12:30 (P25)児童の入所する施設を対象システムとした介入について (遠藤朋子)	11:30-12:00 (P12)公認心理師・臨床心理士養成大学院における「人としてのセラピスト養成モデル」の試行的実施 (福井里江) 12:00-12:30 (P23)社会的孤立支援における関係者支援の基礎研究 (廣橋諒一)			
12:30	昼休み(12:30-13:30)					
13:30	13:30-14:30 (特別講演①) 「人生100年時代の家族のかたち」 【講師】山田昌弘					
14:40	14:40-16:10 【学会企画シンポジウム⑥】 「赤ちゃんと家族～周産期医療の進歩による光と影～」 【シンポジスト】 後藤清恵 近藤達郎 宮田郁 【座長】 上別府圭子	14:40-16:10 【学会企画シンポジウム④】 「家族心理教育の現在地～精神疾患という経験をどう理解し、どう支援するか?」 【シンポジスト】 伊藤順一郎 岡田久実子 渡邊真里子 【指定討論】 福井里江 【座長】 後藤雅博 血田洋子	14:40-15:10 (P7)生きづらさを語るクライアントのストーリーが再著述された事例 (藤森圭子) 15:10-15:40 (P13)コ・リサーチとしてのポスト・セラピー・インタビューはいかなるエビデンスとプラクティスの地平を拓くリフレクティング・プロセスか (矢原隆行)	14:40-16:10 【スーパービジョン】 (S1)T A Tとジェノグラムから家族関係を振り返る (渡部千世子)	14:40-15:40 【事例検討】 (K1)拠り所にしていたリソースを失う事態が生じた事例への対応 (岩田尚大)	14:40-16:10 【自主シンポジウム】 (V9)養護教諭とスクールカウンセラーの効果的な連携・協働について考える (岩崎和子ほか)
15:50			15:50-16:20 (P11)間接的アセスメントに関する研究 (赤津玲子)		15:50-16:50 【事例検討】 (K3)在外教育施設におけるスクールカウンセラーによる不登校児童生徒の支援について (司馬田端)	
16:20	16:20-17:50 【座談セッション】 「日本に家族療法が登場してきた時」 野村直樹 遊佐安一郎 洪沢田鶴子 福山和女 【座長】 檜林理一郎 中村伸一		16:20-16:50 (P2)摂食障害の家族ピアサポートの試み (小原千郷)	16:20-17:50 【スーパービジョン】 (S2)離婚から事実婚を経て関係を再構築した夫婦の一事例 (藪垣将)	17:00-18:00 【事例検討】 (K2)母子合同面接において子どもの自立が進んだ事例 (佐藤大海)	16:20-17:50 【自主シンポジウム】 (V4)発達障害児・者と家族への支援の可能性 (中野真也ほか)
17:00						
18:30から【交流会(福岡サンパレスホテル・パレスルーム)】						